教育委員会だより

～益田市教育委員会～　第４号　平成26年1月17日発行

やっぱり杵でつくとおいしいね！

西益田小ボランティアハウスにて

益田市立図書館スポンサー制度始まる

益田市立図書館　館長　大畑純一

益田市立図書館雑誌スポンサー制度を始めました。

市立図書館に新たな雑誌資料を確保し、利用者へ提供する図書館サービスの充実を図るため、法人その他の団体に図書館に配架する雑誌のカバーを広告媒体として提供し、当該団体等が広告掲載により事業推進を図るかわりに、掲載料として雑誌の購入代金を負担していただく制度です。

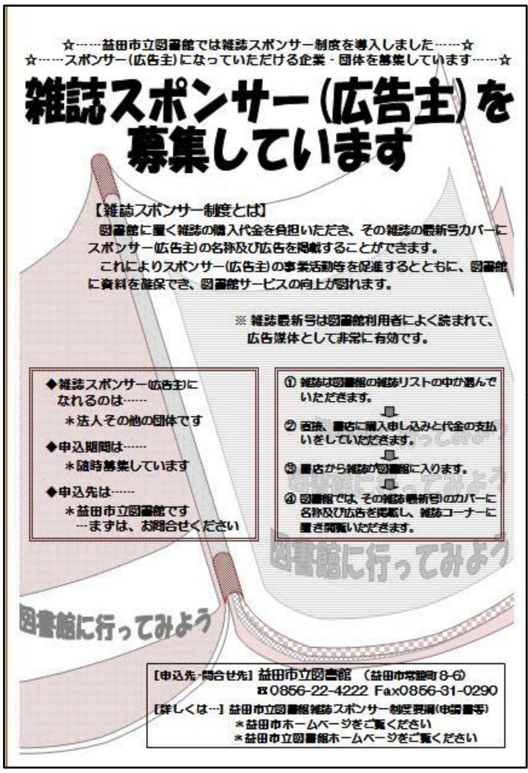
雑誌スポンサーに申込みをすることができる方は、市税等の滞納が無い次の方で個人は対象外です。

一、企業及び個人の事業者

二、公共的団体又はこれに類する団体

益田市立図書館雑誌スポンサーの募集や対象雑誌の一覧につきましては、益田市ホームページをご覧ください。

雑誌コーナーの充実を図り、今後も利用される方に満足していただけるコーナーとしてこの制度を活用してまいります。



☆……益田市立図書館では雑誌スポンサー制度を導入しました……☆
☆……スポンサー（広告主）になっていただける企業・団体を募集しています……☆

雑誌スポンサー（広告主）を募集しています

【雑誌スポンサー制度とは】

図書館に置く雑誌の購入代金を負担いただき、その雑誌の最新号カバーにスポンサー（広告主）の名称及び広告を掲載することができます。

これによりスポンサー（広告主）の事業活動等を促進するとともに、図書館に資料を確保でき、図書館サービスの向上が図れます。

※ 雑誌最新号は図書館利用者によく読まれて、広告媒体として非常に有効です。

◆雑誌スポンサー（広告主）になれるのは……
　＊法人その他の団体です

◆申込期間は……
　＊随時募集しています

◆申込先は……
　＊益田市立図書館です
　…まずは、お問合せください

① 雑誌は図書館の雑誌リストの中か選んでいただきます。
② 直接、書店に購入申し込みと代金の支払いをしていただきます。
③ 書店から雑誌が図書館に入ります。
④ 図書館では、その雑誌最新号のカバーに名称及び広告を掲載し、雑誌コーナーに置き閲覧いただきます。

図書館に行ってみよう

【申込先・問合せ先】益田市立図書館　（益田市常盤町8-6）
☎0856-22-4222　Fax0856-31-0290

【詳しくは…】益田市立図書館雑誌スポンサー制度要綱（申請書等）
＊益田市ホームページをご覧ください
＊益田市立図書館ホームページをご覧ください

団体名等を掲載します。

スポンサー制度対象雑誌の例

・子供の科学
・月かんニュースがわかる
・ＮＨＫ 趣味の園芸
・文藝春秋
・たまごクラブ

など他にもあります

目次

表紙（学校紹介）・・・・・・・・・１Ｐ
益田市立図書館長寄稿
教育情報・就任のあいさつ・・・２Ｐ
教育情報・・・・・・・・・・・３Ｐ
カラフル給食タイム・・・・・・４Ｐ
寄付、寄贈のお礼

発見！　驚き！　ふるさと再発見・見学バスの旅

【吉田南小学校】

飯田選果場

選果場に着くと、入った瞬間すごいと思いました。たくさんのメロンがベルトコンベアーの上をぐるぐる回っていました。糖度を計る機械だったり、箱を閉じる機械だったりなど、たくさんの機械があっておもしろかったです。

メロンは、形や模様、糖度によって「優」とか「秀」とかが決まるなんて初めて知りました。味はおいしくても、あみ目に長い線が一つ入っているだけでだめなものもあって、きびしいなあと思いました。

最後にメロンを食べさせていただきました。とっても甘くておいしかったです。いつも食べているときより、皮がうすくなりました。

季節によって、運ばれてくる野菜や果物がちがうので、また入ってみたいです。

【都茂小学校】

「かみの宿」

都茂小学校の6年生12名が、11月27日（水）に美都町の「かみの宿」で紙漉きをしました。それぞれの児童が、卒業証書にする紙を自分たちの手で作りました。小雨の降る寒い日でした。紙の宿の広兼さんから水のすくい方や水切りの仕方を丁寧に教えていただき、みんな満足のいく出来栄えになりました。

子どもたちが詠んだ句を紹介します。

・みずからでつくった証書で
　卒業だ
・緊張で大事な証書
　できあがる
・初めてでないけどうまく
　できました
・和紙づくり冷たい水で
　手がこおる
・ひとりでも卒業証書
　すくいとる
・卒業を間近にひかえ
　水重い
・森の中冷たい水で
　和紙をすく
・緊張と水の冷たさ
　手が震え
・初めての卒業証書
　水の音
・ぼくが漉く世界で一つの
　和紙なのだ
・水の波重たい和紙を
　すくいとる
・むずかしい卒業証書
　紙の宿

就任のごあいさつ　教育委員　水上　芳枝

平成25年12月26日付で、益田市教育委員会委員に就任しました水上芳枝です。

主任児童委員を務めており、『地域のおばさん』として子どもたちに接しています。社会情勢の変化と様々な問題の中、教育の果たす役割は大きく、大切さを痛感しています。そんな中、『地域の子どもは地域で育てる』この意識の広がりを少しずつ感じています。

子どもの笑顔は大人も笑顔にします。ふるさと益田市の児童生徒が心身豊かに育っていくために、私も学び、微力ながら力を尽くしたいと思います。あらためて、この重責に身の引き締まる思いです。

よろしくお願いします。

益田ふるさと検定

昨年12月に「第2回益田ふるさと検定」を実施しました。

今回も小中学校の部を初級、中級。高校・一般の部を初級、中級、上級に分けて行い、県外参加者も含めた、一、三七二人の方が挑戦し、その内合格者は52人でした。

1月27日には益田市役所教育長室で表彰式を行い、カップ、賞状、認定証などを贈呈する予定です。

各級1位は次の皆さんです。

○小中学校の部　初級
　塩満　元気さん（真砂中）
○小中学校の部　中級
　大森　涼葉さん（高津小）
○高校・一般の部　初級
　梅野　美和子さん
○高校・一般の部　中級
　三宅　亮さん
○高校・一般の部　上級
　永見　建三さん

真砂地区教育協働化推進本部文科大臣表彰

去る12月5日、文部科学省に於いて表彰式が行われました。

真砂地区は、教育協働化推進事業の柱として小・中学校の食育授業を地域ぐるみで取組み、人づくり、地域づくりに貢献したことが評価されました。

【特徴的な活動内容】

○公民館で行う有機野菜作りの学習に小・中学生も参加し、安全・安心な「食」について学びながら野菜の栽培をする活動。

○レストランのシェフを講師にした味覚の授業や、学校とPTAが連携した「弁当の日」の実施。

○学校・地域商社、及びPTAが連携して行う地元の安全・安心な食材を活用した商品開発の実践。（この実践から「真砂バーガー」や「納豆マーボー丼」等の商品が開発され地域商社が商品化）

○学校・公民館・地域商社が連携して行う真砂の商品の販売活動。（小・中学校ではキャリア教育の一環として実施）

【本事業の効果】

児童生徒にとって、自ら考えたレシピが評価され、商品化されると、学習したことが生きてくる。また、販売を通して人々に接することが、コミュニケーション能力の向上や将来の夢につながっている。

また、野菜を育てている地域住民にとって、児童生徒と共に食育活動に取組む中で、形が不ぞろいであったり少量であったりしても、安全・安心で旬の野菜を市内幼稚園の給食食材に提供することが、やりがいや生きがいにつながっている。

【表彰を受けた大庭館長】

地域の文化遺産を未来につなぐために

文化財課では「益田市の文化遺産を未来につなぐ実行委員会」を立ち上げ、市内に残る身近な文化遺産の掘り起こしや普及啓発に取組んでいます。実行委員会は文化財課に事務局を置き、市民の方を含む14名で構成されています。

その活動の一環として、市内のどこに、どのような文化財があるのかを知り、新たな価値を見出すために、文化財総合的把握調査を継続して行っています。

昨年12月23日に行った調査と成果発表会では、雨天にも関わらず、一般の方を含めて17名の方にご参加いただき、建築・民俗・まちづくりの専門の先生方とともに美都町都茂地区の清源寺や旧秦博士記念図書館、島山八幡宮などを散策しました。

散策のあとは、ふれあいホールみとへ移動し、建築・民俗・まちづくりのそれぞれのグループに分かれて意見交換をしました。今回は「ワールドカフェ」方式で、コーヒーを飲みながらリラックスした雰囲気の中で参加者の皆さんに自由に発言していただきました。

【散策の様子】

話し合いの中では、自然に囲まれた寺社は景観的にも美しく、まちづくりに活かしていけるという意見や、この地域の伝統芸能はどのようなものがあるか知りたいといった意見のほか、案内看板が不足していて文化財が分かりにくいなどの課題も出されました。

普段は見過ごしている風景をあらためてじっくり見ることで、まちの自慢になる風景や、今後のまちづくりへの課題となる点などが発見できました。

【意見交換の様子】

☆益田市の文化遺産を未来につなぐ実行委員会では、歴史を活かしたまちづくりの実現に向けて、このような調査や講演会・ワークショップを通して「益田らしさ」を再発見し、まちの将来像である「歴史文化基本構想」の策定を目指しています。

人気メニューを支えるもの　～仕上げは愛情とまごころで～

給食の時間が待ち遠しい

学校給食に携わる者にとって、児童・生徒に「給食の時間が待ち遠しい」と思ってもらえているとすれば、この上ない喜びにほかなりません。今日の学校給食は十分な栄養価摂取に加え、食育等を通じて地域の伝統や食文化を伝えていくという側面を持ち合わせています。しかしながら、食事を楽しみながら美味しくいただくという基本的な点も併せ持つことは言うまでもないでしょう。

給食を楽しむという点では、児童・生徒に人気のあるメニューを提供する事も重要になります。今回はメニューの中から特に人気の高い「バンサンスー」を紹介します。

バンサンスーは漢字で「拌三絲」と書く、中華風の酢の物です。拌（バン）とは「かき混ぜる」三（サン）は「三種類」絲（スー）は「せん切り」という意味だとされています。学校給食では、三種類だけでなく、色々な野菜を取り入れ、春雨特有の食感とさっぱりとした味付けが絶妙なバランスで合わさり、酢の物が苦手な児童・生徒にも大人気のメニューです。保護者の方からも「家庭でも給食メニューのバンサンスーを作ってほしいと子どもに頼まれたので、レシピを教えてほしい。」との問い合わせを数多くいただいています。

長い経験の積み重ねから

なぜ益田市のバンサンスーがこれほど人気なのか？それは長い年月の中から、使用する食材の選定、使用量の割合、調味料のさじ加減といった要素を加味した「経験の蓄積と習熟度の高まり」によるものと思われます。これは一朝一夕に成し遂げられるものではなく、益田市の40数年にも及ぶ学校給食の歴史によって育まれたひとつの到達点です。

それが児童・生徒に「バンサンスー」と聞いただけで安心感を与え、人気メニューとして定着してきた理由ではないでしょうか。

しかし最も重要なことは、「最終的な仕上げに愛情とまごころを込める」という意識をもって業務に携わることです。これは、どのメニューにも当てはまることであり、これからも愛情とまごころをメニューに託して、児童・生徒に給食を届けていきます。

★12月16日の献立
ごはん、バンサンスー、キムチなべ、牛乳

献立作成　濱田　由美子

寄贈、寄付のお礼

益田市奨学金へ寄付
- 国際ソロプチミスト　様
- （一社）茶道裏千家淡交会石見青年部　様
- 岡﨑　友一（下本郷町）　様
- 年忘れ益田市民余芸大会事務局　様
- 糸賀　久恭（久城町）　様
- 島根県合唱連盟益田支部　様
- 匿名　様

茶道裏千家淡交会石見青年部　様

国際ソロプチミスト　様

年忘れ益田市民余芸大会事務局　様

ありがとうございました。